



2023年10月27日

コスモ石油株式会社

コスモエネルギーホールディングス株式会社

株式会社商船三井

## コスモ石油と商船三井が CCS バリューチェーン構築に向けた 海上輸送等の調査・検討に関する覚書を締結

コスモ石油株式会社（代表取締役社長：鈴木 康公、以下「コスモ石油」）と、株式会社商船三井（代表取締役社長：橋本 剛、以下「商船三井」）は、本日、Carbon dioxide Capture and Storage ※（以下「CCS」）バリューチェーン構築に向けた海上輸送等の調査・検討に関する覚書（以下「当覚書」）を締結しました。

CCS は低・脱炭素社会を実現する有効な手段の一つとして期待されています。コスモ石油と商船三井は、コスモ石油が運営する製油所（以下「排出源」）から排出される CO<sub>2</sub> を対象に「分離・回収、輸送、圧入・貯留からなる CCS バリューチェーン」の構築で協業し、以下の調査・検討を実施します。

- (1) 排出源から日本国内外の貯留候補地までの距離、および想定される輸送数量等に適した液化 CO<sub>2</sub> 船の仕様概要
- (2) (1)の検討結果を踏まえた海上輸送コストの概算
- (3) CCS および、CO<sub>2</sub> の分離・回収、海上輸送、再利用プロジェクトでの更なる協働の可能性

コスモ石油と商船三井は、当覚書を通じて CCS バリューチェーンへの取り組みを加速し、低・脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

※ CCS：排ガスから CO<sub>2</sub> を分離回収し、地中等に貯留する技術

## <各社紹介>

### ●コスモエネルギーグループ

コスモエネルギーグループは、「2050年カーボンネットゼロ」を宣言し、Vision2030 および第7次連携中期経営計画 Oil & New ~Next Stage~ にて脱炭素に関する取り組みを加速させています。本件は、Vision2030に掲げる「石油事業の競争力強化 低炭素化」に資する具体的施策の一つです。

コスモエネルギーグループは、グループ理念である「地球と人間と社会の調和と共生」の実現に向け、社会的課題の解決と企業の持続的発展を目指してまいります。

URL：<https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/top.html>

### コスモエネルギーグループ「Vision2030」

未来を変えるエネルギー、社会を支えるエネルギー、新たな価値を創造する。



URL：<https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/about/ir/management/mediumterm/pdf/7thmediumterm.html>

### ●商船三井グループ

商船三井グループは、海運業を中心に様々な社会インフラ事業を展開し、環境保全を始めとした変化する社会のニーズに技術とサービスの進化で挑むことをグループビジョンとしています。本件はグループビジョンに加え、経営計画「BLUE ACTION 2035」で掲げる非海運事業の拡大、「商船三井グループ 環境ビジョン 2.2」の戦略の一つ「グループ総力を挙げた低・脱炭素事業拡大」にも合致する取り組みです。商船三井グループは、人・社会・地球のサステナブルな発展に貢献し、青い海から豊かな未来をひらきます。

URL：<https://www.mol.co.jp/>

